令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質　疑　等	当日の回答（回答者）	その後の対応状況	関連部署
1	R8	西地区	栃窪	個人宅の耐震補強が対策の一歩になるが、市の補助制度などの状況はどのようか。	耐震化率は、令和8年1月1日時点で約90.5パーセント。 様々な広報活動を行っているが、耐震診断を行った方が、耐震設計を行い耐震工事まで行う割合は約50パーセント。家庭や経済的な面から耐震改修工事の実施までは至らないケースもある。（都市部長）	今年度は例年実施している広報はだの特集号の発行、市内各公民館での耐震化補助制度に関する無料相談会（6/18～8/27）に合わせたポスティングに加え、新たにLINE配信、庁内でデジタルサイネージ等での周知を実施し、制度の周知に努めている。	建築指導課
2	R8	西地区	渋沢中	宅地造成など開発による道路の接続の悪さ、セットバックなどによる凸凹が生じており、災害時なども困ると感じる。	民間の事業であり、まちづくり条例などの事前審査を行うが、土地によりいろいろな事情もある。具体的な場所を伺いたい。（都市部長）	個別に話を伺い、制度の説明を行ったところ納得いただいた。	開発指導課
3	R8	西地区	渋沢中第1	私道のグレーチングの設置をお願いしたが、市では対応できないと断られたので、仕方なく自治会で対応した。	私道の管理等は市では行えない。自費工事の補助などもあるが、グレーチングまでは補助できない。（建設部長）	当日の回答のとおり	道路管理課
4	R8	西地区	渋沢下	丹沢まつりを「表丹沢OMOTAN祭」に変更してはどうか。	丹沢まつりの運営は実行委員会が担っており、いただいた御提案は、実行委員会（事務局）に伝える。（環境産業部長）	実行委員会（事務局）において御意見は承った。今後の参考にさせていただく。	観光振興課
5	R8	西地区	渋沢上	有事の際は市職員や警察消防、医療関係者などのエッセンシャルワーカーに頼ることになるが、安全安心確保策として、その方々の耐震補強などはどうなっているか。	それぞれの耐震化率まで把握していない。市職員はまずは家族の安全が確認できたことが前提となるが、そのあとは地区配備隊やそれぞれの業務で有事の際の行動が決められており、常日頃から備えをしている。（くらし安心部長）	当日の回答のとおり	防災課
6	R8	西地区	波多川	空き家対策が進んでいないのではないか。	法令に基づき、様々な対応を行っている。（都市部長）	管理がされていない空家については、文書による適正管理のお願いにより、相談案件の約7割は改善につながっている。何度お願いしても対応しない所有者に対しては、管理不全空家等に認定して指導するなど、強めの対応をしている。 なお、空家バンクはこれまで約268件の登録があり、204件が売買又は賃貸で成約し、空家所有者への意向確認の実施などにより利活用につなげている。 また、令和5年度からは行政書士会と連携して「住まいの終活セミナー」を実施し、空家の発生抑制を図るとともに、相続財産清算制度の活用や法に基づく強制執行の実施により、所有者不明空家の解消に努めている。	交通住宅課
7	R8	西地区	波多川	市としては、外国人との共生する方針なのか。	多文化共生の考えで様々な取組を進めている。（政策部長）	当日の回答のとおり	各課
8	R8	西地区	波多川	税の滞納者への対応が甘いのではないか。	多額の対応とならないよう、初期の段階から対応している。（政策部長）	初期段階から電話や文書により納付を促しているが、なお納付に応じないときは、財産の差押を行っている。	債権回収課
9	R8	西地区	青少年相談員	歩きスマホ、ながらスマホ（自転車、自動車）をなくす地域社会づくりや横断歩道での歩行者優先の気持ちを持つなど、協力し合う心を持った地域づくりをしていきたい。	（意見）	交通ルールやマナーなどの啓発については、秦野警察署などの関係機関・団体とともに行う交通安全キャンペーンや出前講座の形式による交通安全教室において実施している。 自治会や高齢者団体などから依頼があれば、公民館、自治会館等へ出向いて教室を実施しているため、地域安全課まで問い合せてほしい。	地域安全課
10	R8	西地区	沼代3	渋沢駅北口ロータリーの渋滞対策として、市営駐車場の30分無料化などを検討してもらいたい。	（要望）	令和5年度に、渋沢駅北口ロータリーの渋滞解消と商店街への誘客を目的に、市営駐車場を無料化する社会実験を行った。実験の結果、短時間での乗降ニーズが高く、混雑する朝夕のロータリー利用台数に変化がなかったこと、商店街への誘客にもつながらなかったこと、が確認できた。こうした検証結果に加え、無料化を通年で継続した場合、使用料収入で運営経費が賄うことができなくなることから、実施は難しいと考えている。 渋滞解消に向けた取組みとして、北口ロータリー内に駐車の注意看板を設置した。今後は、送迎車に対して、チラシ配布などの啓発や駅前広場の構造的な解消の検討をしている。	産業振興課 建設総務課

令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質　疑　等	当日の回答（回答者）	その後の対応状況	関連部署
11	R8	鶴巻地区	鶴巻上部	鶴巻温泉駅北口おける水害対策について、令和6年の台風10号と同程度の雨量があれば、同じように冠水するということか。	冠水の恐れがあるので、同じ被害にならないよう雨水管の水位を観測して、避難誘導できるような取組を強化していく。（上下水道局長）	実証実験として、令和8年5月から市内2か所のマンホールで水位観測を開始し、動作や精度等を検証している。	下水道施設課
12	R8	鶴巻地区	鶴巻上部	急傾斜地崩壊防止対策事業について、自治会への説明を逐次文書ですると回答をもらったが、今回質問するまで何もなかった。	適宜、県とも連携して説明をしていると思うが、「文書で説明する」という回答を含めて確認する。（くらし安心部長）	今後、進捗状況を説明する際は、文書を発出することを伝えた。	防災課
13	R8	鶴巻地区	鶴美ヶ丘	ルールを守らない学生や自治会未加入者への対応に苦慮している。ごみの戸別収集を一部地域で実施しているが、その他の地域での実施について、現在の検討状況を教えてほしい。	戸別収集は、収集場所での収集に比べ、2～3倍のコストがかかる。現状は約4億だが、10億ぐらいかかる計算となり、税金で賄うには厳しい状況であり、有料化もセットで検討すべき課題である。 直ちに有料化は難しいが、自治会未加入者への対応など、地域コミュニティの問題として、完全解決は難しいが、全庁的な課題意識をもって検討していく。（環境産業部長）	戸別収集については、今後、あり方も含めて検討していく。（環境資源対策課） 自治会に加入していない方とのかかわり方など、地域コミュニティの課題としても検討をしていく。（地域コミュニティ担当）	環境資源対策課 地域コミュニティ担当
14	R8	東地区	東田原	田原ふるさと公園の防災広場としての整備と多目的活用について、昨年までの回答では、地権者の意見を聞くといっていたが、どうなったのか。	ふるさと公園の運営団体と公園のあり方について検討した。地権者への意見を伺うことについては承知していない。（環境産業部長）	田原ふるさと公園周辺は農用地区域であり、農地以外の使用ができないこと。また、中丸広場は災害廃棄物の一次仮置き場となっており、防災広場の設置が難しいことを伝えた。	農業振興課
15	R8	東地区	東田原	東小中までの避難は遠い。田原ふるさと公園（伝承館？）の災害時の利用はできないのか。	中丸広場は、災害廃棄物の一次仮置き場として位置付けている。伝承館を一時避難場所と利用することはできる→場所の再確認が必要。（環境産業部長）	田原ふるさと公園の敷地を一時避難場所として利用できることを伝えた。 ※一時避難場所として、建物（伝承館）の使用は想定していない。	農業振興課
16	R8	東地区	蓑毛上	緑水庵のバリアフリー化や家族連れが訪れやすい散策路の環境整備、自転車に車の出入りがあるためスピードを緩める注意喚起（看板設置）、東屋におけるガーデンテーブル3、4台の設置、使えない木製ベンチの撤去などを要望。	運営委員会や対策委員会の意見を聞きながら、検討していく。（環境産業部長）	・自然観察の森の倒木撤去、草刈り作業は順次行っていく。 ・車いす用のスロープの設置は多額の費用が必要なことから、車いすの方は、前庭までは車のまま上がっていただくように促す表示により対応したい。 ・県道の自転車利用者への注意喚起は、来訪者への案内サインも検討していることから、一体的に検討していきたい。 ・木製ベンチの撤去・新設は、まちづくり委員会が今年度行うとのことなので、設置に向けて調整したい。	環境共生課
17	R8	東地区	蓑毛上	（当日提案者の説明主旨）防犯カメラの設置に伴う電気料の負担が出てきた中で、役員の活動費の確保が難しくなっている。担い手も不足している中、活動費を確保するためにも単位自治会交付金を増額してほしい。	自治会の財源をどのように活用するか。今まで通りでは難しいので、一緒に改善方法を探っていきたい。（くらし安心部長）	防犯カメラの設置は、自治会の担い手不足の中、地域の犯罪抑止や警察の捜査協力に加え、地域における防犯パトロールなどの人的な負担軽減の一つとして効果的であると考えている。 民間事業者との3者協定に基づく防犯カメラの設置は、原則無償設置、電気料のみ負担とし、自治会の経済的負担を図りながら、防犯力の向上を目的とした取組みである。また、設置の判断は、自治会の責任において行われ、その経費（電気料）についても、自治会活動全体の中で適切に見通しを立て、計画的に管理されているものと認識している。 自治会交付金については、限られた財源の中で自治会活動を支援するものであり、個々の自治会における経費の状況や活動内容を踏まえた適切な運用が必要であると考えている。市としては、各自治会において、自主財源や活動そのものの見直し等をお願いするとともに、自治会交付金が、地域の実情に応じて有効に活用され、自治会が自主的かつ持続的に活動できるよう支援していく。	市民活動支援課 地域安全課

令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質 疑 等	当日の回答(回答者)	その後の対応状況	関連部署
18	R8	東地区	小金沢	スーパーセントラルアル秦野店出店について、店舗の新設による名古木交差点の渋滞への影響はないという説明だったが、実態をよく確認してほしい。周辺の狭い生活道路への影響も心配。	現在、県で審査中であり、地域の声を伝えていく。(建設部長)	地域の皆様から寄せられた名古木交差点及び周辺生活道路の交通に関する不安は、本年5月26日及び7月21日に審議され、結審した県の大規模小売店舗立地審議会を通じて設置者に伝えられている。大規模小売店舗の開店直後には、来店車両の集中により一時的な混雑が生じることも想定されるが、その後も渋滞や生活道路への車両流入が継続して確認される場合には、関係機関及び設置者と状況を共有し、車両誘導や来退店経路の見直し等を求めるとともに、信号のタイミング調整を含む交通対策について県警察と相談していく。 県道を管理する平塚土木事務所からは、「名古木交差点に接続する県道70号については、右折レーンが設置されていないため、朝夕の交通集中による渋滞が顕著であるとのことだが、右折レーンの設置には、用地取得が必要となるため、早期の事業化は難しいと考えている。先ずは、沿道地権者の協力と地元地域の整備に向けた一体的な機運の醸成を図っていただくことが必要不可欠となる。その上で、必要性や優先順位を秦野市と相談しながら検討していきたい。」と確認している。	開発指導課 産業振興課 国県事業推進課
19	R8	東地区	西田原	地区テーマに関する主旨説明や市からの回答を口頭でやるより、資料として配布したほうが、理解しやすいし、市政全般に時間を使えるのではないか。	ギリギリまで回答を調整している。進行については、もっと正副会長と事前に調整していく。(広聴担当課長)	当日配布が可能なものについては、配布していく。	広聴担当
20	R8	東地区	名古木	空き家対策について、解体費用への補助や固定資産税の課税方法を見直しなど、更地にしやすい環境づくりをした方が安全ではないか。	空き家対策として、様々な対策を講じているが、意見は担当部局に伝える。(政策部長)	本年7月1日に株式会社クラッソーネと連携協定を締結し、市ホームページに空家解体シミュレーターを掲載するなど、解体費用の目安を試算することにより解体や跡地利活用の促進につなげていくこととしている。 また、令和8年度より、周辺住民等に著しく悪影響を及ぼすおそれのある危険な状態にある特定空家については、解体費用の一部を補助する制度を創設し、解体及び跡地の利活用の促進を図ることとしている。(交通住宅課) 空き家解体後の土地に対する固定資産税の課税方法の見直し(減免制度)については、他市の事例は承知しており、担当課とも情報を共有していく。(資産税課)	交通住宅課 資産税課
21	R8	東地区	西田原	市民体育祭の現状をどのようにとらえているのか。自治会としては、やる意味があるのかと感じている。他地区の事例などを自治会にも情報共有してほしい。	スポーツ協会、地区体協の事業であり、その中では情報が共有されている。地域によって活気の有無はある。自治会に協力をお願いするに当たって、他地区の状況を共有できるようにしていく。 辞めてしまうのは簡単だが、地域コミュニティの基本の事業でもあるので、どのような工夫(見直し)をすれば残していけるのか、一緒に話し合いをしながら考えていく。(政策部長)	地域の体育協会からは、子どもの参加や役員の高齢化により、参加者の確保が年々困難になっていると聞いている。今回の質疑をスポーツ協会にも共有する。(スポーツ推進課) 主催するスポーツ協会等を含め、関係者の意見も踏まえながら、どのような実施方法があるべき姿なのか、地域コミュニティの課題としても検討をしていく。(地域コミュニティ担当)	スポーツ推進課 地域コミュニティ担当
22	R8	大根地区	北矢名第1	大根中学校区学校整備構想について、広畑小の子供は通学距離が遠くなることへの対応は考えているか。	懇話会でも様々な意見が出ている。今後、学区も含めて柔軟に検討していく。(教育部長)	これまでに引き続き、内部の関係部署において、対応の検討を行っている。(学校整備推進担当) 柔軟な対応ができるよう、関係部署と調整を進めている。(学校教育課)	学校整備推進担当 学校教育課
23	R8	大根地区	下大槻第1	大根中学校区学校整備構想について、広畑小がなくなると広域避難所はどうなるのか。	秦野高校や広畑ふれあいプラザなどの可能性を含め、検討していく。(くらし安心部長)	学校施設との複合化ワーキンググループ等の結果を踏まえ、検討していく。	防災課
24	R8	大根地区	北矢名第1	弘法山観光ルートが観光協会、観光ボランティアのルートに入っていない。しっかりとPRしてほしい。	市の取組みと連携を観光協会にお願いしていく。(はだの魅力づくり担当部長)	市と観光協会では、密な連携に努めている。 双方において弘法山ルートを含めたハイキングルートの情報を提供しているほか、観光ボランティア主催のイベントにおいても、弘法山を通るルートを含む様々な企画を行っている。	観光振興課
25	R8	大根地区	南矢名下部第3	スポーツビレッジの使用料が高いと感じる。	公設民営で運営できる料金設定となっている。(環境産業部長)	はだのスポーツビレッジは民間資金にて施設整備され、供用開始後も維持管理に対する市の負担はなく、使用料などの収入によって、運営が賄われている。また、Jクラブも利用できる質の高い天然芝グラウンドとなっており、維持管理を含めると、この料金設定となることをご理解いただきたい。なお、市内料金については、比較的利用しやすいよう設定している。	スポーツ推進課

令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質 疑 等	当日の回答(回答者)	その後の対応状況	関連部署
26	R8	大根地区	南矢名下部第3	大根地区地域包括支援センターの事業者が撤退すると聞いているが、今後の運営はどうなるのか。	今年度はこれまでの事業者が対応。現在、9年度以降の事業者を募集している。(くらし安心部長)	受託事業者の募集は、9月1日から30日を受付期間とし、12月末までに委託先を決定する予定である。	高齢介護課
27	R8	大根地区	北矢名第1	大根地区地域包括支援センターの事業者募集への事前相談はなかったと聞いた。地域に情報を共有してほしい。	現在進行形の内容であり、地域に共有できる段階になったら、情報共有していく→会長が近々担当課と打合せ予定あり。(市民活動支援課長)	8月17日、大根地区社会福祉協議会の理事会において、経過と今後予定について説明を行った。	高齢介護課
28	R8	大根地区	南矢名上部	南矢名の事業者の騒音問題について、担当課が対応してくれているが、抜本的な解決にはなっていないので、引き続き協力をお願いしたい。	県とも協力して対応しているが、法規制の範囲内。調停などの手段も含めて、引き続き対応していく。(環境産業部長)	今後も定期的に現地確認を継続し、現地の状況把握に努めていく。また、県公害審査会への調停等の申請に関するご相談には、適切に対応しいく。	生活環境課
29	R8	大根地区	南矢名上部	瓜生野百松明盆踊り大会について、市も文化財としてPRしてくれて観光客も来るようになったが、逆に役員の高齢化、受入体制の整備などが追い付かず、もっとPRしようとしても、地域だけでは限界がある。行政による警備員の配置などの協力をお願いできないか。 伝統行事の継承という部分では子どもたちを巻き込んでいきたいが、子ども会もなくなり、厳しい状況である。	警備員の配置は持ち帰って検討する。地域の伝統行事の継承や子ども会の解散など、どのように地域コミュニティを引き継いでいくかは、総合政策課の担当も一緒に考えていきたい。(政策部長)	市では、これまでも文化財の保存・継承活動に係る補助金として、通常活動費に加え、法被・着物の更新等に係る個別支援を行ってきた。警備費用については、行事を安全に公開・実施し、継承していくために必要な経費として、補助対象に含める方向で検討し、必要に応じて次年度予算の編成に向けて調整していく。子どもたちへの普及については、大根小学校での瓜生野盆踊りの体験学習などの機会を活用し、瓜生野百八松明にも興味を持ってもらえる周知等について調整していく。いずれも、団体に説明し、理解を得ている。(生涯学習課) 担い手の確保として、関係人口のかかわり方などを検討していく。(地域コミュニティ担当)	生涯学習課 地域コミュニティ担当
30	R8	大根地区	南矢名下部第3	先日、地域の児童公園の草刈りを行い、回収をお願いしたところ、後日現地を確認したら、きれいに回収されていた。できれば、いつ回収したなど、報告があれば、なおよかったと思う。	引き続き、市民サービスの向上に努めていく。(市長)	各部署における対応状況について、途中経過や完了の報告など速やかに行うよう、全庁的に周知していく。	広聴担当
31	R8	本町地区	下落合	県道705号の整備について、歩道が完成するまで相互通行は開始すべきではないと思う。	今年度末で車両の相互通行ができる予定であり、歩道が片側の通行でも十分機能性は増すと考えている。(建設部長)	県道を管理する平塚土木事務所からは、「県道705号は今年度末の相互通行の開始に向けて関係機関との調整を行っているが、歩道の通行についても、交通管理者である県警本部と協議中であり、安全性や利便性に配慮して整備を進める」と確認している。	国県事業推進課
32	R8	本町地区	入船	秦野曽屋高校の跡地について、地域の広域避難所として活用できるように考えてもらいたい。	意見を踏まえて検討していく。(くらし安心部長)	当日の回答のとおり	防災課 総合政策課
33	R8	本町地区	大根(下大槻団地)	市全体で避難所運営委員がどのぐらい欠員なのか、資料を公開してほしい。	資料を持っていないが、共有できるものは情報共有していきたい。(くらし安心部長)	資料提供済み	防災課
34	R8	本町地区	末広地区民児協	避難行動要支援者の個別計画の策定はどこまで進んでいるのか。	優先度が高い要支援者を重点的に取り組んでおり、8年3月末時点で208人となっている。今年度から、対象を拡大して計画の策定を進めている。(くらし安心部長)	当日の回答のとおり 計画を作成していない全対象者に案内を行い、令和8年8月末時点で362人が作成している。(高齢介護課・障害福祉課)	防災課 高齢介護課 障害福祉課
35	R8	本町地区	西(学校前)	動物との避難について、避難所のルールの見直しをお願いしたい。	検討していく。(くらし安心部長)	ペットの避難所も含めて検討していく。	防災課
36	R8	本町地区	下大槻団地	物価高騰対策について、水道料金の減免もありがたいが、他市で行っている低所得者への現金給付を行う考えはないのか。	その時々で必要なもの、効果的なものを適時適切に選択している。 物価高騰対策は今後も続くと思われるので、その時々の情勢を見ながら、議会とも議論して、国や県とも連携して取り組んでいく。(市長)	引き続き、物価動向や実質賃金の推移、国や県の施策、市内の経済状況を注視しながら、市民の暮らしを守り、事業活動を活性化するため、適時適切に対策を講じる。	財政課

令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質　疑　等	当日の回答（回答者）	その後の対応状況	関連部署
37	R8	本町地区	入船	末広自由広場に「100円協力金」を入れるBOXが設置された。すべてのスポーツ広場に設置されているのか。今後、公園などにも拡充されてしまうのか。	スポーツ広場は無料で利用できる施設であり、他の広場にも設置している。行政や地元の方々で維持管理しているが、利用している方にも善意で協力をお願いしているものであり、強制するものではない。（環境産業部長） 公園については、カルチャーパークなどの都市公園に設置している例はあるが、地域の公園まで拡充することを議論したことはない。（建設部長）	末広自由広場を含むスポーツ広場は、無料で利用できるが、維持管理にはそれなりの費用がかかるため、利用者からのお気持ちをいただいている。（スポーツ推進課） カルチャーパークは施設の整備として基金の協力をお願いしているが、地域の公園については、現在考えていない。（公園課）	スポーツ推進課 公園課
38	R8	上地区	柳川第1	農業振興指定地（農業振興地域）などの規制により、新たな住宅が建たないなど、土地活用がしづらい状況をどうするのか。	制度の中で、どのような対応ができるか関係機関と協議していく。（都市部長）	農地法の規制緩和について農業委員会に相談するとともに、今後、さと地共生住宅開発許可制度の運用改善に向けて関係部署と協議していく。	交通住宅課
39	R8	上地区	柳川第1	空き家バンクの更なる活用に向け、行政がもっと所有者と希望者のマッチングに努めてほしい。	上地区の物件はすべて成約している。職員も努力しているが、地域の物件を活用できるよう、協力してもらいたい。（都市部長）	令和6年度に実施した空家実態調査に合わせ、建物所有者に今後の意向確認調査を実施したが、上地区内では8割以上の方が現状維持を望んでいた。 引き続き空家対策に努めていくが、利活用の促進に向け、所有者や相続人が、売却や賃貸の意向を示していただけるよう、地域の方にもご協力をお願したい。	交通住宅課
40	R8	上地区	柳川第1	移住につながるよう公営住宅の設置を検討してもらいたい。	現在、市営住宅は集約化を進めている。民間の賃貸住宅も飽和状態で空きがある状況のため、このような物件を活用していく方針である。（都市部長）	現在、民間の賃貸住宅を活用した市営住宅の運営を検討しているが、公営住宅は住宅に困窮している方を対象とした住宅となる。 移住定住促進については、定住化促進住宅「ミライエ秦野」への入居促進や、空家バンクによる中古住宅の市場流通の促進により進めている。	交通住宅課
41	R8	上地区	柳川第1	農家レストランを開こうとしてもうまく進んでいないので、もっと市が協力すべきではないか。	農業に関する規制は対応が難しいが、当事者からの相談も受けているので、引き続き、市としても協力していく。（環境産業部長）	複数の候補地を想定していることから、当事者と現場立ち合いし、その候補地での法的規制などを説明する。	農業振興課
42	R8	上地区	三廻部	荒廃農地の活用に向けた取組はどうなっているのか。	農地バンクでのマッチングなどもあるが、新たな担い手の育成が課題。他市での経験者など、農地法の規制を踏まえた新たな制度を検討している。（農業委員会事務局長）	9月に、はだのセミファーマー認定基準等に関する要綱を付議予定。	農業委員会
43	R8	上地区	三廻部	さと地共生住宅制度の活用について、農業委員会に農地活用の相談をしても、関係ないという態度だった。市としての対応を一本化してほしい。	法律を越えた対応ができないため、県との連携も重要になる。制度の所管は交通住宅課が窓口なので、担当に相談いただいて、庁内での調整を行う。（都市部長）	さと地共生住宅開発許可制度の活用については、交通住宅課にご相談いただければ、農地転用の可否や開発許可の手続き等について関係部署と調整し、回答する。	交通住宅課
44	R8	上地区	湯の沢	いなか暮らしふるさと塾をもっと、様々な媒体を使ってPRしてほしい。	参加した方の評判は良い。運営側の負担も考慮しながら、庁内関係部署と連携していく。（環境産業部長）	広報はだの、HP、SNS、公共施設等でのチラシ配架のほか、昨年度から市内コンビニや郵便局での配架に加え、東京のふるさと回帰支援センターなど市外への発信にも取り組んでいる。 引き続き、効果的なPRに努めていく。	森林ふれあい課
45	R8	上地区	八沢	林道（八沢新道）のネット設置はありがたいが、落ち葉の処理に困るので、設置方法については地域の意見も聞いてもらいたい。	ネットの設置方法について相談させてもらいたい。（環境産業部長）	7月下旬にネットを設置した。その際、地域から要望のあった、落ち葉を処理できるよう、地面との間に隙間を設けて設置した。	環境資源対策課
46	R8	上地区	三廻部	地域内の民地への残土問題について、数年前から訴えてきているが、今後どうするのか。	民地の問題で強制的な対応はできないが、引き続き話をしていく。（都市部長）	行為者に対しては、既に勧告などの対応を行っている。相続人等から相談があった際には、現状復旧するよう伝えていく。 また、定期的なパトロールの対象地については、引き続き、安全性の確認を行っていく。	開発指導課

令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質 疑 等	当日の回答(回答者)	その後の対応状況	関連部署
47	R8	上地区	三廻部	市道18号線三廻部境(三廻部1番地)と、市道53号線(北小学校から東小学校)の竹木が道路等に越境しており、通学路で危険なので対応を要望する書面を5年前に出している。道路管理者としてもっと積極的に対応し、新たなシステム作りをしてもらいたい。	全市的に、危険度などから優先順位をつけて取り組んでいることをご理解いただきたい。(市長)	市は土地所有者に対し、道路へ草木が越境した箇所については、自宅を訪問し、剪定依頼を行い、不在の場合は剪定をお願いする通知を送付していること、民法改正を踏まえ、土地所有者に対して強く依頼をしていくことを説明し、了解を得た。	建設総務課
48	R8	上地区	湯の沢	湯ノ沢団地の防災について、松田町との協議体を作り、昨年度初めて合同の研修会を実施した。過去の経緯を含めて理解して、行政主導で対応してもらいたい。	防災課に伝えるので、よく相談してほしい。(くらし安心部長)	自治会長と打合せを行う予定。	防災課
49	R8	南地区	南地区	区画整理等により、新しい住民が増えるが、農業を営む上で欠かせない肥料をまいた際などの苦情も増えている。農業との共存する生活について、理解してもらえるようにしてもらいたい。	住宅地の中に農地があり、大規模な農地の中に住宅があるわけではないので、個別に調整ができる状況となっている。(都市部長)	当日の回答のとおり	都市整備課
50	R8	南地区	西(栃窪)	熊本県の震災を見ても、開発によって公園など、住民が集まれる場所が必要だと思う。区画整理等において、公園設置の基準や計画はあるのか。	公園については、区域面積の4%を確保するよう取り組んでおり、区域内には、大きな水辺公園がある。また、区域外にも小さな公園があり、空白を設けないようバランスを考えながら整備を計画している。(都市部長)	公園面積について、区域面積の4%と回答したが、正しくは3%となる。お詫びと訂正をさせていただく。	都市整備課
51	R8	南地区	八幡山	南公民館の建替えについて、南小学校の敷地内に建設するとのことだが、将来の小中学校の複合化に影響するのではないか。個人的には、保健福祉センターと複合化したほうが、多世代交流が進むのではないかと思う。 原案で決定とせず、さまざまな関係者の意見を聞く機会を設けてほしい。	南公民館運営協議会や学校関係者、社会教育委員などの意見を聞いている。南小・南中は少子化の影響が他の地域と比べて緩やかで、南公民館の耐用年数を考えると小中学校の複合化では間に合わない。これから別の案で再考することも、日程を考えると難しい。(文化スポーツ部長)	9月4日に南地区の各自治会長が集まる場において、改めて建替えの説明を行う。(生涯学習課)	生涯学習課 行政経営課
52	R8	南地区	西(栃窪)	西中学校と公民館を複合化しているが、多世代交流や駐車場の問題など、当初期待されたような効果が見られない。南公民館と南小学校の図書館の共有についても、セキュリティ面などで難しいのではないか。西公民館や学校司書などにもよく話を聞いて検討すべきではないか。	西公民館の課題は承知しており、南小学校側の意見も聞きながら検討している。 南小学校図書館は、南小の児童数に対して手狭になっており、地域との交流もできるような運用を考えていく。(文化スポーツ部長)	一般向けの出入口と別に学校から児童が出入りするドアを別に設けるなど、セキュリティについては、設計と運用で確保できると考えている。地域との交流については、公民館運営協議会等で検討する。(生涯学習課)	生涯学習課 行政経営課
53	R8	南地区	新田町	公民館は生涯学習施設であり、幅広い世代が使う施設である。南公民館を移転する南小学校敷地では、周辺道路の状況やバスの便が良くない。高校生など若い世代が集える場所という視点からも、秦野駅周辺に公民館があっても良いのではないか。	南小・南中の児童生徒は、減少傾向が他の地域より進まないことや、南幼稚園は園児数が他の地域に比べても減り続けていくことなどを考えて、土地を有効に使うことを考えた結果であり、ご理解いただきたい。(市長)	9月4日に南地区の各自治会長が集まる場において、改めて建替えの説明を行う。(生涯学習課)	生涯学習課 行政経営課 教育総務課
54	R8	南地区	新田町	休日夜間診療所など3師会が同居する施設の建設について、周辺の緑町や清水町の道路は狭小な道も多い。交通量や緊急車両が通行することや、地域住民の生活にも影響があることを考えて、まちづくり(インフラ整備)につなげてほしい。	施設周辺の道路拡幅(敷地側の後退)や歩道の設置、緑風橋の耐震補強工事などを計画している。(建設部長)	施設周辺をセットバックしての道路拡幅と歩道設置について、事業主である医師会等と共に計画を進めている。引き続き、実現に向けた詳細な調整を重ねていく。	健康づくり課
55	R8	南地区	緑町	地元自治会としては、渋滞対策や駐車場対策について説明を聞いているので、その通りに対応してもらいたい。一部クランクで見通しが悪く、事故の発生が懸念される場所もあるので対策を要望する。	(要望)	6月25日付けで回答させていただいたとおり、繁忙期については、患者の分散受診や臨時駐車場の設置により対策を行う。また、安全対策として、周辺道路の拡幅を行うことに加え、カーブミラー及び道路表示を新設する。	健康づくり課

令和８年度まちづくり懇談会 要旨及び対応状況一覧（令和8年8月31日時点）

No.	年度	地区	自治会等	質 疑 等	当日の回答(回答者)	その後の対応状況	関連部署
56	R8	南地区	緑町	開発区域から市道につながるT字路にカーブミラーの設置を要望したが、最終的に私道への設置になった。そこに設置すると民地のため、市では管理できず、自治会で管理するように説明を受けたが、道路は自治会以外の人も使用するのに、自分たちのお金で管理するというのはおかしいのではないか。	一般的には、担当課が説明した通りだが、道路の種類も含めて、詳細を確認のうえ、改めて回答、説明させていただく。(建設部長、市長)	8月20日に自治会長と打合せを行い、昨年度設置したカーブミラーは自治会管理とすることで了解を得た。	道路管理課
57	R8	北地区	羽根西	表丹沢野外センターの市外の利用者数は増えているが、そのPRが地元に伝わらない。高齢者にはインターネットを見ない人もいるので、市の広報でも積極的に周知してほしい。	指定管理者の強みを生かし、HP、SNS、予約サイトなどを活用している。紙媒体の広報については、指定管理者にも情報提供するとともに、市の広報、タウンニュースなども活用していく。教育委員会に教育活動の中での活用も働きかけている。 要望5点については、制度上やコスト面での課題もあるが、指定管理者とも情報共有して、できるところから取り組んでいく。(環境産業部長)	イベント情報などは、市広報においても周知している。 引き続き、効果的なPRとなるよう、指定管理者と連携しながら、戦略的に行っていく。	観光振興課
58	R8	北地区	菩提中西	表丹沢野外活動センターの酷暑対策として、大広間に冷房設備の導入を検討してもらいたい	(要望)	御意見は指定管理者にも共有し、今後の参考とさせていただく。	観光振興課
59	R8	北地区	菩提原	くず葉の泉には、湧水を汲み、県外からも多くの人が訪れている。野外活動センターからの林道の整備(安全対策)をお願いしたい。	(要望)	桜沢林道については、葛葉の泉までは自由に通行できるようにしているため、林道利用者が安心して通行できるよう、必要な対策を検討していく。	森林ふれあい課
60	R8	北地区	菩提原	秦野丹沢SAにヘリポートやぷらっとパークが設置されることにより、現在のスマートICの出入口が変更になるのか。	スマートICの出入口の位置は変わらない予定。(政策部長)	当日の回答のとおり 変更や確定した場合には、必要に応じて情報提供する。	総合政策課
61	R8	北地区	菩提中西	スマートIC上り線に向かう際、曽屋方面から県道705号を上って、横野入口交差点を直進していく大型車両が多い。横野からの通学路、生活道路であり、危険である。規制は難しいと思うが、注意看板を設置してほしい。	進入規制はハードルが高い。現状を確認して、警察とも協議していく。(くらし安心部長)	自治会長と現地調査の日程を調整中。(8月31日現在)	地域安全課
62	R8	北地区	菩提原	菩提横野線の整備により、2期工区の中で、市道24号線との交差部分に横断歩道が設置されない箇所がある。警察との協議だと思うが、市民の安全のために、市役所からも強く要望してほしい。	具体的な協議は今後になるが、地域の強い要望があることを警察に伝えながら協議していく。(建設部長)	横断歩道は警察の所管となるが、地域の強い御要望を警察へ伝えながら、引き続き協議する。	道路整備課
63	R8	北地区	菩提中西	市道53号線や農免道路(葛葉川を渡って100m程先)に側溝が詰まっていたり、樹木が道路にはみ出している場所があるので、対処してほしい。	具体的な場所を確認させてもらいたい。側溝は市で対応できるが、民地からの樹木については、地権者・所有者に連絡して対応してもらうことが基本。通行の妨げなど、危険な個所は緊急的に対応することがあるが、市内全域の普段の管理を行政で対応することはできないことはご理解いただきたい。(建設部長)	8月20日、自治会長に対象地を聞き取り、現地確認した。側溝清掃は、排水機能に支障がないか調査し、側溝清掃を実施した。 また、樹木について、市有地であれば、危険度に応じて伐採等を行い、民有地であれば市から通知書を送付し、地権者に適正管理を依頼する。	道路管理課 建設総務課
64	R8	北地区	戸川原	自治会SNS「いちのいち」を自分たちの自治会は7割近く登録して利用しているが、今年度で市の支援が無くなる方向性を聞いている。代わりのシステムも含めて、検討状況はどうなっているか。	システムを開発する小田急側のリニューアルにより、市内の利用率が自治会全体の1%未満となってしまった。さらに、利用する自治会側には無料で提供されていたが、全国展開する中で、今年度から利用者負担を求められている。 今年度は市が負担しているが、アンケートなどをとってデジタル化のあり方を検討している最中。全自治会一律でのシステムではなく、別の形で支援する方法を検討している。(市民活動支援課長)	昨年度から自治会のデジタル化に関するアンケート調査を行っており、その結果に基づき、今後、デジタル化に関する支援策を検討していく。 現在、全ての自治会への均一的な支援ではなく、デジタル化に意欲のある自治会などへの支援を考えているため、方向性が固まり次第、自治会に情報提供する予定。(市民活動支援課) 地域コミュニティのDX推進について、様々な方の意見も踏まえながら、どのように取り組んでいくのか検討をしていく。(地域コミュニティ担当)	市民活動支援課 地域コミュニティ担当
65	R8	北地区	菩提上西	菩提の沢に20年ほど前、地域で植樹した桜があるが、自治会員の高齢化などにより年々管理が難しくなっている。建設部に相談したが、難しいとの回答だったが、官地でもあるようなので、支援をお願いしたい。	法面なども官地であり、管理が複雑なので、過去の経緯も含めて、確認してから回答させてもらう。(建設部長)	8月24日、自治会長に対象地を聞き取り現地確認した。 9月2日に現場立会いを行い、桜は民有地にあるため、市では伐採対応できないが、道路通行上支障となる場合は、枝の剪定を実施することを伝え、現時点では支障がないため、来年度以降、引き続き確認することを伝えた。	道路管理課